

高齢者の住み替えに関するアンケート調査

< 出典調査 >

調査の名称	都市高齢者の介護予防と多様な住まい方に関する検討調査報告書(平成17年6月)
調査団体	社団法人 国際経済労働研究所・社団法人 生活文化研究所
調査地域	大阪府・千里ニュータウン(吹田市・豊中市) 神奈川県・湘南地域(鎌倉市寺分・藤沢市片瀬山) わが国の2015年～2025年予想高齢化率が現在、現実化していると想定される大都市圏の郊外住宅地域を調査。戸建地区、かつ50歳以上の居住世帯を対象。
調査時期	平成17年4月～5月
回答者数	469世帯 (うち単身世帯 143件、夫婦で居住世帯 326件) 夫婦世帯には世帯主、配偶者それぞれの意見を調査。回答者の95%が持家

図1. これからの暮らしについて心配なこと

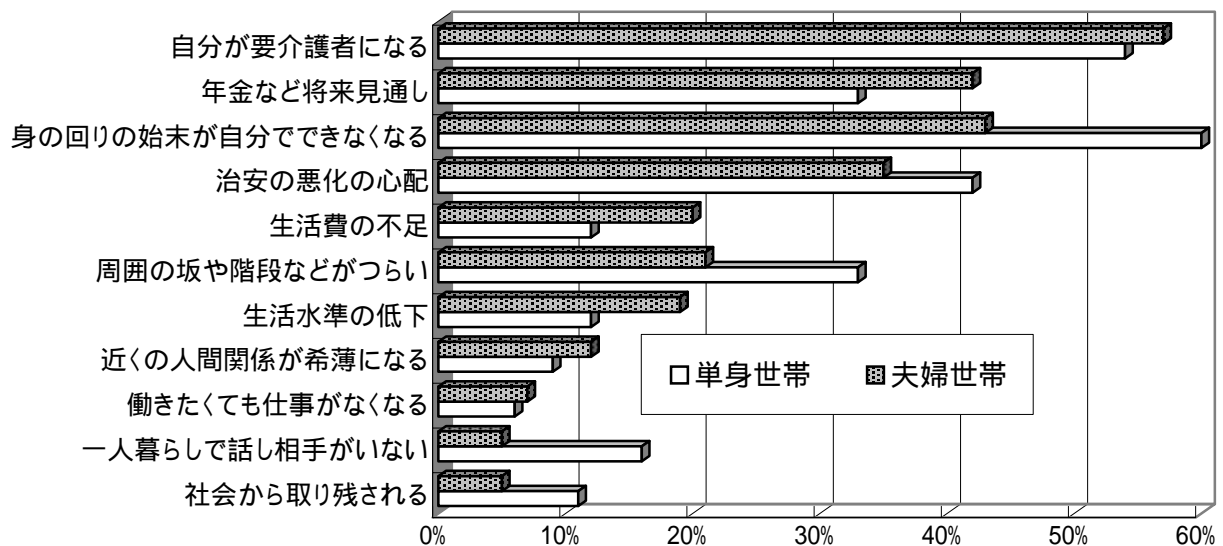


図2. 加齢を考慮した現在の住居・生活環境についての不満

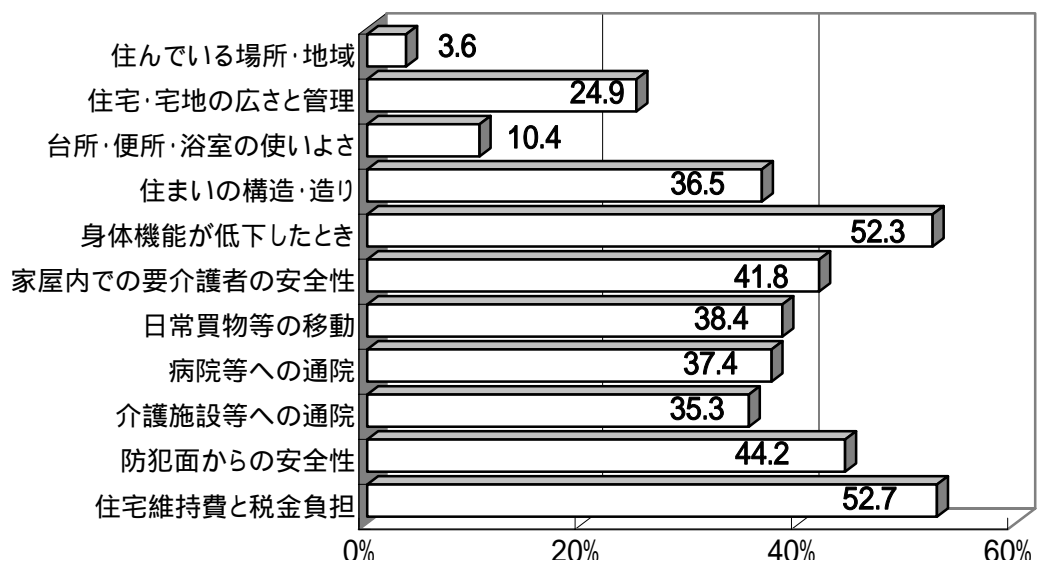


図3. 要介護になる前に早めに安心できる住まいへ住み替える必要性

図3.要介護になる前に早めに安心できる住まいへ住み替える必要性

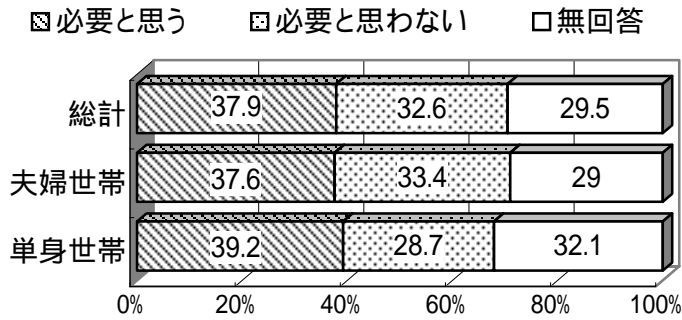


図4.持家で終生居住したい人の住居対策

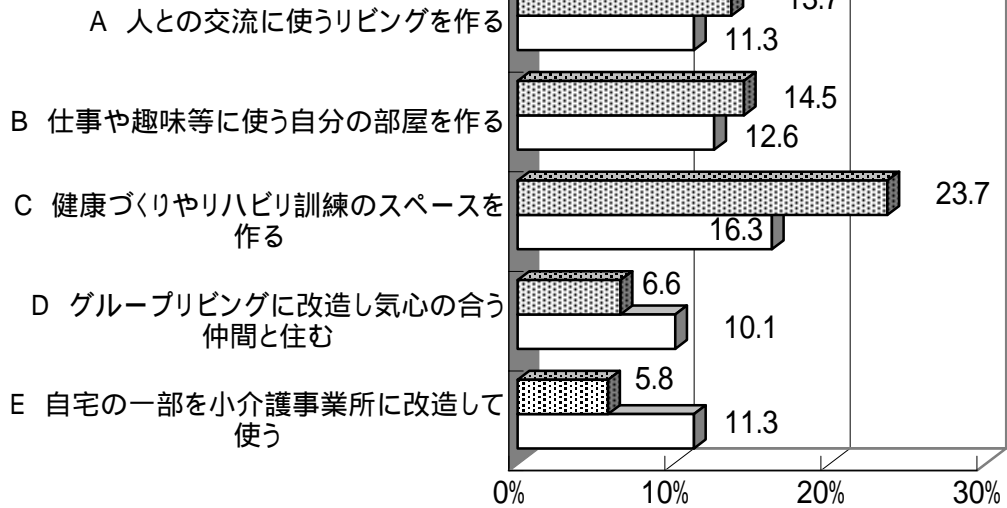


図5.住んでいる町の駅・周辺に立地する介護付住宅への関心

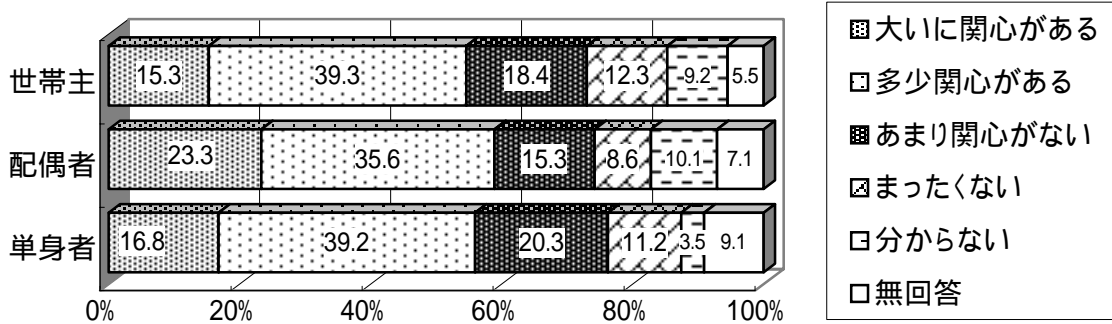


図6.住んでいる町の住宅地に立地するグループリビングへの関心

